

## 平成20年度

## 1 級造園施工管理技術検定

## 学科試験・問題 A

次の注意をよく読んでから始めてください。

## 〔注 意〕

1. この問題用紙は学科試験の問題Aです。表紙とも10枚、36問題あります。
2. 問題はすべて必須ですから、36問題全部を解答してください。
3. 解答用紙（マークシート）には間違いのないように、試験地、氏名、受験番号を記入するとともに受験番号の数字をぬりつぶしてください。
4. 解答は、解答用紙（マークシート）にHBの鉛筆又は芯がHBのシャープペンシルで記入してください。

解答用紙は

問題番号	解答記入欄			
問題 1	①	②	③	④
問題 2	①	②	③	④
問題 10	①	②	③	④

となっていますから、

当該問題番号の解答記入欄の正解と思う数字を一つぬりつぶしてください。

解答のぬりつぶし方は、解答用紙のぬりつぶし例を参照してください。

なお、正解は1問について一つしかないので、二つ以上ぬりつぶすと正解としません。

5. 解答を訂正する場合は、プラスチック消ゴムできれいに消してから訂正してください。  
消し方が不十分な場合は、二つ以上解答したこととなり正解としません。
6. この問題用紙の余白は、計算等に使用してもさしつかえありません。  
ただし、解答用紙（マークシート）は計算等に使用しないでください。
7. 解答用紙（マークシート）は、必ず係員に渡してください。持ち帰りは厳禁です。
8. この試験問題は、試験終了時刻（12時30分）まで在席した方のうち、希望者に限り、持ち帰りを認めます。  
途中退席した場合は、持ち帰ることはできません。

※ 問題はすべて必須ですから、36 問題全部を解答してください。

〔問題 1〕 我が国の公園制度に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 明治 6 年の公園開設に関する太政官布達が、我が国の近代的な公園制度の出発点となった。
- (2) 明治 21 年に東京市区改正条例が制定され、新宿御苑等の公園が整備された。
- (3) 昭和 6 年に国立公園法が制定され、瀬戸内海国立公園等が指定された。
- (4) 昭和 31 年に都市公園法が制定され、公園管理の法制度が確立した。

〔問題 2〕 土壌に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) パーミキュライトは、ひる石が原料であり、土壌の保肥力や透水性の改善に効果がある。
- (2) 土壌中では窒素の大部分が無機物で存在するため、植物は直接利用吸収できず、微生物等の働きによって有機化されて利用吸収される。
- (3) 吸湿水は重力水が抜けた後の土壌粒子に吸着し保持されたものであり、一般に、植物には利用吸収されにくい土壌水分である。
- (4) 土壌中の空気の組成は、大気に比べて炭酸ガスの割合が多く酸素の割合が少なくなる傾向があり、濃度の均一性が低い。

〔問題 3〕 土壌に関する次の記述の正誤の組合せとして、**適当なもの**はどれか。

- (イ) 土壌は、固相，液相，気相の三相からなり，三相分布は，植物根の伸長の難易や，根への酸素供給あるいは水分や養分の保持などに関係を持つ土壌の重要な性質である。
- (ロ) 土壌は，砂，シルト，粘土の割合で示される土性によって類別され，土性は，土壌の生成過程を反映した最も基本的な性質であり，土壌の物理性を支配するとともに，化学性や生物性とも密接な関連を持つ土壌の重要な性質である。

(イ)        (ロ)

- (1) 正 —— 正
- (2) 正 —— 誤
- (3) 誤 —— 正
- (4) 誤 —— 誤

〔問題 4〕 FAO（国際連合食糧農業機関）による土壌層位に関する次の（イ）～（ハ）の記述のうち、**適当なものをすべて示したものはどれか。**

（イ） 落葉，落枝あるいは草本植物遺体などが，未分解若しくは部分的に分解された有機物として堆積した層位を O 層という。

（ロ） 腐植に富み，粒状構造が発達し，土壌動物や微生物等の生物の活動が活発な暗色を呈した層位を A 層という。

（ハ） A 層などから溶脱された鉄，アルミニウム，粘土などの物質が集積し，土壌材料（母材）が風化，変質した赤褐色，褐色等を呈した層位を B 層という。

- (1) (イ)
- (2) (イ)，(ハ)
- (3) (ロ)，(ハ)
- (4) (イ)，(ロ)，(ハ)

〔問題 5〕 次の（イ）～（ニ）のうち，植物の虫害に関する記述として，**適当なものの個数はどれか。**

（イ） スジキリヨトウの成虫は，芝の茎葉を食害する。

（ロ） サンゴジュハムシは，サンゴジュ，ガマズミなどの葉の汁液を吸収する。

（ハ） アメリカシロヒトリの幼虫は，雑食性でスズカケノキ，ポプラなどの葉を食害する。

（ニ） マツノマダラカミキリは，マツノザイセンチュウを媒介し，マツ枯れを引き起こす。

- (1) 1 個
- (2) 2 個
- (3) 3 個
- (4) 4 個

〔問題 6〕 「地域」と「一般的に使用される造園樹木」の組合せとして，**適当でないものはどれか。**

（地域）                      （一般的に使用される造園樹木）

- (1) 北海道 —— ナナカマド，モッコク
- (2) 四国 —— クスノキ，クロマツ
- (3) 九州 —— カイズカイブキ，クロガネモチ
- (4) 沖縄 —— アメリカデイゴ，ソテツ

〔問題 7〕 花壇に用いられる植物に関する組合せのうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 宿根草 ————— インパチェンス, シバザクラ, ニチニチソウ
- (2) 秋播き一年草 ———— キンギョソウ, キンセンカ, パンジー
- (3) 春播き一年草 ———— ケイトウ, ジニア, マツバボタン
- (4) 球根類 ————— カンナ, チューリップ, フリージア

〔問題 8〕 芝草の特性に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 改良パーミューダグラス（ティフトン）は、種子繁殖であり、西洋芝の中では特に低温でもよく生育し、生長力が旺盛なため、短期間で芝地を造成することができるので、公園の広場などに用いられる。
- (2) ベントグラス類は、冷涼な地方での代表的な芝草で、緻密な芝生であることからゴルフ場のグリーンなどに用いられる。
- (3) フェスキュー類は、環境適応力が極めて優れている芝草で、粗く株立ちする性質もあるので、他の芝草と混播して利用され、法面や海岸埋立地などの緑化に用いられる。
- (4) イタリアンライグラスは、発芽性がよく、越年した翌夏には消失するため、夏芝が枯れる冬の間緑を保つためのオーバーシード用などに用いられる。

〔問題 9〕 造園樹木の性質に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) クロマツ, トベラ, ハマヒサカキは耐潮性が強い。
- (2) ケヤキ, サングジュ, ラクウショウは乾燥に耐える。
- (3) アベリア, ウバメガシ, カナメモチは萌芽力があり, 刈込みに耐える。
- (4) アオキ, カクレミノ, テイカカズラは日陰に耐える。

〔問題 10〕 石材に関する次の記述の正誤の組合せとして、**適当なもの**はどれか。

(イ) 「節理」とは、変成岩や堆積岩が一定方向に層状に重なり合う岩石の配列のことをいう。

(ロ) 「野面」とは、石の表面が長年月の風化、浸食作用を受けてざらざらになったものをいう。

(イ) (ロ)

(1) 正 —— 正

(2) 正 —— 誤

(3) 誤 —— 正

(4) 誤 —— 誤

〔問題 11〕 木材の性質に関する次の記述の正誤の組合せとして、**適当なもの**はどれか。

(イ) 木材は、繊維に平行方向の圧縮力に対して弱く、繊維に直角方向の圧縮力に対して強い。

(ロ) 木材は、まさ目材と板目材があり、まさ目材は板目材に比べて伸縮が一様で不規則な変形をしない。

(イ) (ロ)

(1) 正 —— 正

(2) 正 —— 誤

(3) 誤 —— 正

(4) 誤 —— 誤

〔問題 12〕 造園樹木の植付けに関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 根巻きのために使用されているワラや縄などは、根鉢を崩さないように丁寧に取り除くか、切って緩めておく。
- (2) 根が地中の湿気を嫌うマツ類等を植え込む場合に用いられる土極め法では、植付け後の水鉢は切らない。
- (3) 落葉広葉樹の植付け時期は、植物の生長が止まる厳冬期を除く休眠期から春期萌芽前までがよく、一般に春期萌芽前が最もよい。
- (4) 植え穴の底には、樹木の枝の向きや幹の傾き、さらに根入れ深さの調節を容易にするため、よく砕いた床土を中高に敷く。

〔問題 13〕 造園樹木の剪定に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 枝おろし剪定は、主として込みすぎた枝の中すかしのために行うもので、樹形、樹冠のバランスを考慮しつつ、不必要な枝を付け根から切り取る。
- (2) 常緑広葉樹は、傷面が寒さや乾燥した寒風等により害を受けやすいので、一般に冬期の強い剪定は避けるほうがよい。
- (3) 切返し剪定は、樹冠を小さくする場合などに行うもので、適正な分岐点より長い方の枝を付け根から切り取る。
- (4) 花木の剪定については、春に芽が伸びて花芽をつけ、その年のうちに開花する樹木は、秋から翌春の萌芽前までに剪定するのがよい。

〔問題 14〕 造園樹木の支柱に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 歩道の植樹帯に植栽する樹高 3.5 m、幹周 0.15 m の樹木に二脚鳥居型（添木無）支柱を用いた。
- (2) 広場に植栽する樹高 5.0 m、幹周 0.4 m の樹木に十字鳥居型支柱を用いた。
- (3) 植込み地に植栽する樹高 3.0 m、幹周 0.1 m の樹木に竹 3 本八ツ掛支柱を用いた。
- (4) 広場の植込み地に植栽する樹高 7.0 m、幹周 0.8 m の樹木にワイヤー張り支柱を用いた。

〔問題 15〕 施肥に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 高木の施肥位置は、輪肥の場合、葉張り外周線の地上投影部分に深さ 20 cm 程度の溝を根を傷めないように輪状に掘り、肥料を平均に敷込み覆土するとよい。
- (2) 砂質土壌は、肥料の保持力が弱く流亡しやすいので、化学肥料より有機質肥料を施すほうがよい。
- (3) 一般に、速効性肥料は、芽出し肥、開花・結実後の樹勢回復のためのお礼肥として使用し、遅効性肥料は、寒肥、元肥として使用するほうがよい。
- (4) 火山灰土壌は、リン酸吸収力が極めて弱いため、溶性リン酸を十分に施すとよい。

〔問題 16〕 日本庭園の役木に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 滝囲いの木は、奥山の風情をつくるために滝口か、滝石組のなかほどに滝の姿をあらわに見せないように植栽される樹木で、一般に常緑樹がよいとされている。
- (2) 見越しの松は、庭の背景を構成し、前面の景を引き立てる役割をもつ樹木で、マツ以外にもモミ、コウヤマキなども用いられることがある。
- (3) 見付きの木は、門や園路の前方の目立つ場所に植栽される樹木で、一般に大木で姿のよい樹種が用いられる。
- (4) 灯籠控えの木は、灯籠を引き立てるため、灯籠の脇や背後に添える樹木で、多くは、モッコク、モチノキなどの常緑樹が用いられる。

〔問題 17〕 次の（A）～（D）の花木のグループの「花芽の位置」と「花芽の分化期・開花期」の組合せとして、**適当なもの**はどれか。

- （A）：エゴノキ，シャリンバイ，ハナミズキ
- （B）：ウメ，サンシュユ，ユキヤナギ
- （C）：キョウチクトウ，キンシバイ，サザンカ
- （D）：アメリカデイゴ，キンモクセイ，ナツツバキ

「花芽の位置」

- （イ） 頂芽に開花するもの
- （ロ） 側芽に開花するもの

「花芽の分化期・開花期」

- ① 当年枝に花芽分化し，翌春に開花するもの
- ② 当年枝に花芽分化し，当年の夏から秋に開花するもの

- （1）（A）——（ロ）——②
- （2）（B）——（ロ）——①
- （3）（C）——（イ）——①
- （4）（D）——（イ）——②

〔問題 18〕 高齢者，障害者の利用に配慮した公園の園路に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- （1） 通路の勾配について，高齢者や車いす利用者が円滑に利用できるよう，縦断勾配を5%以下とし，横断勾配を1%以下とした。
- （2） 園路に設ける階段について，肢体不自由者に配慮し，階段の両側に連続して2段手すりを設け，上段の高さを85cmとし，下段の高さを65cmとした。
- （3） 園路からの転落等の危険防止が必要な箇所について，園路の両端に10cmの立ち上がりを設け，さらに水路との境界には高さ110cmの転落防止柵を設けた。
- （4） 園路の出入口に設ける車止めについて，車いす利用者が通過しやすいよう，有効幅を90cmとし，その前後に120cmの水平面を設けた。

〔問題 19〕 アスファルト舗装に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) プライムコートは、路盤とアスファルト混合物とのなじみをよくし、降雨による路盤の洗掘や表面水の浸透を防止する効果がある。
- (2) 敷きならし時のアスファルト混合物の温度は、一般に 110℃ を下回らないようにする。
- (3) 施工継目は、横継目及び縦継目とも、下層の継目の上に、上層の継目を重ねないようにする。
- (4) アスファルト混合物の締固め作業は、一般に初転圧、二次転圧、継目転圧及び仕上げ転圧の順序で行う。

〔問題 20〕 運動施設に関する記述のうち、**適当なもの**はどれか。

- (1) 野球場の方位は、競技者を主とした場合、一般に本塁を南に、投手板を北にとることが望ましい。
- (2) サッカー場の長軸の方位は、できるだけ東西方向にとることが望ましい。
- (3) 硬式テニスコートの長軸の方位は、南北を基準にやや北西から南東に振ることが望ましい。
- (4) 陸上競技場の長軸の方位は、南北方向にとり、メインスタンドを東側に設けることが望ましい。

〔問題 21〕 野球場の内野舗装等に用いられるクレイ系舗装に関する組合せとして、**最も適当なもの**はどれか。

- | (表層)       | (中層)           | (特徴)                |
|------------|----------------|---------------------|
| (1) 粘性土+黒土 | —— 火山砂利        | ————— 降雨後の乾燥に時間がかかる |
| (2) 焼成土    | ————— 火山砂利     | ————— 降雨後の乾燥が早い     |
| (3) 焼成土    | ————— クラッシャーラン | —— 降雨後の乾燥に時間がかかる    |
| (4) 粘性土+黒土 | —— クラッシャーラン    | —— 降雨後の乾燥が早い        |

〔問題 22〕 遊具に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 踊り場や通路などの歩行を目的とした平坦な床面に隙間を設ける場合、足を挟み込まれないように 6 cm とした。
- (2) 丸太つり橋などでは、足を挟み込まれないよう、歩行部の隙間を 5 cm とした。
- (3) 指先を入れた場合に抜けなくなるような 8 ～ 25 mm の隙間や穴を作らないようにした。
- (4) 児童用遊具に開口部を設ける場合、頭部が通り抜けられるよう、その直径を 30 cm とした。

〔問題 23〕 日本庭園における滝の役石に関する次の記述の (A) ～ (C) に当てはまる語句の組合せとして、**最も適当なもの**はどれか。

「(A) は、流水の落ち口に据える石であり、枯れ滝では鏡石ともいう。(B) は (A) の両側に据える石で、滝の形を構成する重要な石である。また、(C) は、滝つぼに配し、落水による音やしぶきを出す役石である。」

- |     | (A) | (B) | (C) |
|-----|-----|-----|-----|
| (1) | 水落石 | 横石  | 水分石 |
| (2) | 滝石  | 脇石  | 水分石 |
| (3) | 滝石  | 横石  | 水受石 |
| (4) | 水落石 | 脇石  | 水受石 |

〔問題 24〕 建設機械に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) バックホウは、設置地盤よりも低い部分の掘削、切取り法面の掘削及び水中掘削などの使用に適している。
- (2) ホイール式トラクタショベルは、クローラ式に比べ掘削力は小さいが、優れた機動性と大型バケットによりルーズな材料の積込み能力が大きい。
- (3) ブルドーザは、締固め能率が悪く施工の確実性も低いため、本来締固め機械として使用することは望ましくないが、通常の締固め機械では使用困難な土質や法面等に使用されている。
- (4) タイヤローラは、載荷重及び空気圧によりタイヤの接地圧を変化させることができ、一般に碎石などの締固めには接地圧を低く、粘性土などの場合には接地圧を高くして使用している。

〔問題 25〕 コンクリートの施工に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 鉄筋コンクリートを施工する際、鉄筋の交点の要所は、直径0.8 mm以上の焼なまし鉄線又はクリップで緊結しなければならない。
- (2) 張出し部分を持つ構造物を施工する際、壁と梁の接合部の打継ぎ目をなくすため、連続してコンクリートを打設しなければならない。
- (3) 暑中コンクリートとして施工する際、コンクリートの打込み後の硬化が進んでいない時点で、急激な乾燥によるひび割れの発生が認められた場合には、直ちに再振動締固めやタンピングを行い、これを除去しなければならない。
- (4) 2層にコンクリートを打設する際、コールドジョイントの発生を避けるため、下層のコンクリートが硬化を始める前に上層のコンクリートを打ち込まなければならない。

〔問題 26〕 片持梁式擁壁に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

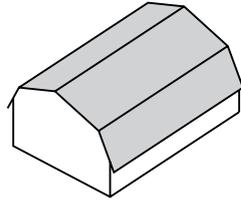
- (1) 擁壁の設計に用いる自重は、かかと版上の載荷土の重量を躯体重量に加えた値とした。
- (2) 擁壁の安定に関する検討において、滑動に対する抵抗力が滑動力の1.5倍となるようにした。
- (3) 擁壁の表面にV字型の切れ目を持つ鉛直打継ぎ目は、15 mの間隔で設け、その位置で鉄筋を切断し、また、擁壁の伸縮目地は、10 m以下の間隔で設け、その位置で鉄筋を切断した。
- (4) 擁壁の直接基礎を良質な支持層に設け、鉛直荷重は直接基礎底面の地盤のみで支持させる場合において、底版厚さに50 cmを加えた基礎の根入れ深さを確保した。

〔問題 27〕 雨水排水に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

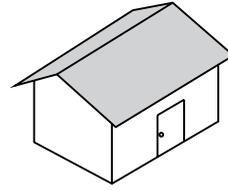
- (1) 雨水枳への管径150 mmの取付け管を、枳の底面から150 mm上方に取り付けた。
- (2) 管渠径が500 mmの排水管の直線区間において、マンホールを70 m間隔で設置した。
- (3) 水面接合において、管底差が70 cmの上流管と下流管を、副管付きマンホールを用いて接合した。
- (4) 排水管への取付け管を、排水管の流下方向に60度の向きで、排水管の中心線の上方向に取り付けた。

〔問題 28〕 次の (A) ~ (D) に示す木造建築物に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

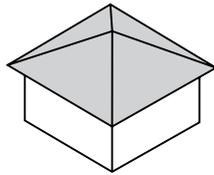
(A)



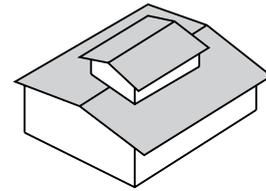
(B)



(C)

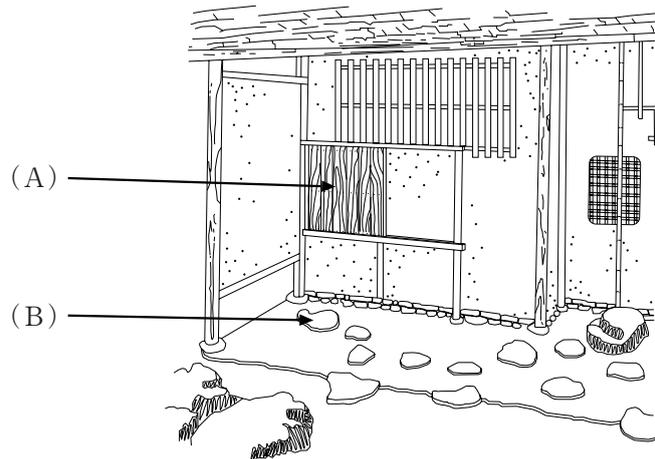


(D)



- (1) (A) は、洋小屋の一種で、腰折れ屋根又はマンサード屋根の建物である。
- (2) (B) は、平側に出入口がある「平入り」の切妻屋根の建物である。
- (3) (C) は、大棟から四方向に葺き下ろした方形屋根の建物である。
- (4) (D) は、換気や採光のため、大屋根の棟に小屋根を設けた越屋根の建物である。

〔問題 29〕 下図に示す茶室の (A), (B) の名称の組合せとして、**適当なもの**はどれか。



- |         |     |
|---------|-----|
| (A)     | (B) |
| (1) 躡口  | 乗石  |
| (2) 中潜り | 乗石  |
| (3) 中潜り | 踏石  |
| (4) 躡口  | 踏石  |

〔問題 30〕 電気設備工事に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 単心の低圧ケーブルを曲げて布設する際、その曲げ半径（内側半径）を仕上がり外径の8倍とした。
- (2) 地中配線ケーブルを、電柱に沿って立ち上げる際、地表上1.5mの高さまで保護管に収め、保護管の端部に雨水浸入防止用カバーを取り付けた。
- (3) 地中電線路を車両その他の重量物の圧力を受けない場所で直接埋設する際、土冠を0.6mとした。
- (4) 地中電線路の管路を設置する際、電気工事士の資格を持たない者が設置した。

〔問題 31〕 次の（イ）～（ニ）のうち、給水管の施工に関する記述として、**適当なもの**の個数はどれか。

- （イ） 配水管からの分岐のため、取付け口の位置を他の給水装置の取付け口から30cm離して取り付けた。
- （ロ） 園路部分に布設した口径75mmの給水管に他の埋設する管と区別するため、明示テープを取り付けた。
- （ハ） 水道メータを地中に設置するため、メータ柵を設け、流水方向の矢印を確認した上で水平に取り付けた。
- （ニ） 給水管の布設箇所が不同沈下を起こすおそれがあったので、給水管に可とう性の伸縮継手を取り付けた。

- (1) 1個
- (2) 2個
- (3) 3個
- (4) 4個

〔問題 32〕 「公共工事標準請負契約約款」に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 設計図書において監督員の検査を受けて使用すべきものと指定された工事材料については、当該検査に合格したものを使用しなければならないが、当該検査に直接要する費用は、請負者の負担とする。
- (2) 監督員は、工事の施工部分が設計図書に適合しないと認められる相当の理由がある場合、施工部分を最小限度破壊して検査することができるが、検査及び復旧に直接要する費用は、発注者の負担とする。
- (3) 発注者は、工事目的物の引渡しの際に瑕疵があることを知ったときは、その旨を直ちに通知しなければ、当該瑕疵の修補又は損害賠償の請求をすることはできない。ただし、請負者がその瑕疵があることを知っているときは、この限りでない。
- (4) 発注者は、工事完成の通知を受けた日から14日以内に請負者の立会いの上、設計図書に定めるところにより、工事の完成を確認するための検査を完了し、当該検査の結果を請負者に通知しなければならない。

〔問題 33〕 「公共工事における工事費積算基準」に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

- (1) 直接工事費には、工事を施工するために必要な材料費、労務費及び電力、用水使用料が含まれる。
- (2) 共通仮設費には、調査、測量や丁張りに要する費用、工事实績の登録に要する費用が含まれる。
- (3) 現場管理費には、現場労働者の安全・衛生に要する費用、研修訓練に要する費用が含まれる。
- (4) 一般管理費には、技術研究、開発の調査研究の費用、建物や機械装置の原価償却費が含まれる。

〔問題 34〕 建設工事における建設副産物の適正処理に関する記述のうち、**適当でないもの**はどれか。

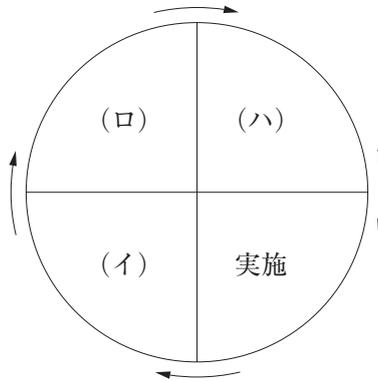
- (1) 元請業者が、資源の有効な利用の促進に関する法律に基づく対象建設工事の完成後、速やかに再生資源利用計画、再生資源利用促進計画の実施状況を把握するとともに、それらの記録を1年間保管した。
- (2) 元請業者が、産業廃棄物管理票（マニフェスト）を交付して追跡管理を行い、運搬、処分受託者から業務終了後8日後に返送された管理票の写しを5年間保存した。
- (3) 元請業者が、分別された建設発生木材について、原材料としての再資源化が困難であったため、熱回収を行う施設で燃焼の用に供した。
- (4) 元請業者が、建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律に基づく対象建設工事の着手7日前に、工事着手の時期、工程の概要、分別解体等の計画等について、都道府県知事に届出を行った。

〔問題 35〕 次の（イ）～（ニ）のうち、**施工計画に関する記述として、適当なもの**の個数はどれか。

- （イ） 仮設備計画の立案に当たっては、工事内容、現地条件にあった適正な規模の使いよいものとするのが大切で、その使用目的、使用期間などに応じて、その構造を設計し、労働安全衛生法等の規準に合致するよう設計する必要がある。
- （ロ） 資材計画の立案に当たっては、材料及び仮設材の使用予定に合わせて、これらを適時現場に搬入し、それらの不足による手待ち時間やむだな保管費用などの発生を最小限にするとともに、特に仮設材については、有利な調達契約方法、融通、転用方法の活用、回収の方法についても検討する必要がある。
- （ハ） 労務計画の立案に当たっては、計算により算出された職種別の所要人数の1～2割の割増しを行い、病欠などによる工程の遅れを防ぎ、農繁期、正月、盆の帰郷なども計算に入れておくことが必要である。
- （ニ） 出来形管理計画の立案に当たっては、管理すべき構造物の形状寸法とそれらに要求される精度を明らかにし、管理基準を常に満足させるように施工を誘導していく必要がある。

- (1) 1個
- (2) 2個
- (3) 3個
- (4) 4個

〔問題 36〕 下図に示す施工管理の一般的な手順を示したデミングサークルの（ロ）において行う作業内容として、**適当なもの**はどれか。



- (1) 対象となる管理のうち、どの管理内容を調べるか決める。
- (2) 出来上がったものがうまくいっていない場合は、原因を追及し、是正する処置をとる。
- (3) 出来上がったものが計画に適合しているか調べる。
- (4) 工事内容に関する十分な事前調査を行う。